



発行所 岡山県笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 0865 (62) 5128 印刷 正文社印刷所

座右の書との出会い

同窓会会長 浅野 和志



笠岡高校同窓会千鳥会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨今、町の本屋がほとんどなくなり寂しい限りです。一昔前は笠岡にも何件もの本屋があり、何気なく店内を歩いていると新しい本のワクワクする出会いがあったものです。

ついでに

校長 小寺 邦彦



千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

本校は令和三年に創立二〇年を迎え、今年度で創立一三三年目を迎えました。昨年五月に、新型コロナウイルス感染症が五類に位置づけられ、学校生活もコロナ禍前

本校の学校教育目標は、「志高く自らの人生と社会の未来を拓く人を育てる」です。この目標のもと「未来開拓力」の育成を目指して、「総合的な探究の時間（ACIT）」を中心に、教科活動や特別活動と往還した体系的なキャリア教育に取り組みんでいます。

普通科の改革が進む中で、各高校は、魅力化・特色化が求められています。そうした中で本校は、「未来開拓型カリキュラム」を充実させ、少人数・習熟度別の授業やICTの活用等により、学びの個別最適化を図っています。

千鳥で過ごす三年間で、生徒一人一人が夢に向かって全力で挑戦し、可能性を最大限に伸ばすことができよう、教職員一丸となって、千鳥の新しいステージを創り上げていきます。

東京支部総会報告

東京支部 (平成六年卒) 西谷 教生

二〇二四年(令和六年)五月二十五日に千鳥会東京支部総会を昨年同様アリスアクアガーデン品川店にて開催いたしました。

クイズ大会は岡山・笠岡関連の三択クイズを出題し、景品付きだったこともあり大変盛り上がりました。

これからの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。近畿支部のさらなる発展のため、そして母校の伝統を次世代に継承していくために、役員一同精進して参ります。

近畿支部長

(昭和五十一年卒) 江木 宏志

昨年九月の近畿支部総会にて、新たな役員の皆様と共に支部長に就任しました。

また、本部及び東京支部の協力により近畿在任の同窓生を紹介していただくことができ、今年度の総会にはより多くの同窓生に参加いただくことができそうです。

心当たりのある懐かしい名前だったので即座に了承を伝えたら、さっそく翌日には彼から電話が来た。



千鳥会がつなぐ縁 昭和三十六年卒 中村 宣彦

六年前の秋口に笠岡高校の千鳥会事務局から「山口市の小学校で同級生だったという方から中村さんの住所等を教えて欲しい」と問い合わせがあったが、知らせても良いか」という連絡が来た。

私は小学校卒業と同時に山口を離れ、その後も幾度かの転居を繰り返してきたため山口とは無縁の生活を送ってきたが、これが縁で小学校の同級生との交流が復活した。

上は共に地域のお世話に携わって来た大事な先輩であった。お二方共に既に黄泉の国に旅立られて久しいが、今もお顔が懐かしく思い浮かぶ。

望遠鏡 昭和四十六年卒 小寺 厚彦

遠く霞んだ心象風景を望遠鏡で覗く。入試から入学式にかけての頃だ。行き交う学生の中で、濃紺に深緑のラインが入ったセーラーが目を引く。

? レンズの向こうからこちらを覗く老翁がいる。一体誰だろう。当惑しながら

ら凝視してみる。何と！うかうかと古稀を越えてしまった自分が鏡に映っているではないか。もう憫笑するより仕方ない。それでもなお、双眸の奥には消え残った青い夢の欠片がたゆたっている。

母校に感謝

昭和五十六年卒
水川 敬章

「笠岡高校の歴史」というキーワードで「ググる」。我々の過ごした高校時代には「ググる」なんて言葉はない。「インターネット」も、「スマホ」も存在しない。高校を卒業して四十三年、世の中は驚くほど変貌した。

就職して間もないころ、「二十四時間働けますか？」という長く働くことを褒めたたえるようなフレーズの歌があった。が、今は長い時間働くのは「悪」とされている。価値観ですら真逆に近いぐらいに変わっているものもある。

令和六年四月、同窓会の運営委員を拝命したことをきっかけに四十三年ぶりに母校の門をくぐる。変わっているところもあるが八割がた昔のイメージのまま。今までもあまり顧みることがない母校がなぜか懐かしさ、ほっとする気持ちを感じる事ができた。

我が母校の歴史は百二十年を超えたとのこと。様々な変化を過ごした百二十世代以上の卒業生に、おそろしく今の私と同じような感情を抱かせてきたであろう母校、笠岡高等学校。同級生や先輩・後輩との「縁」ができたのも母校のおかげと感謝している。

する世の中が息苦しくなった時、これからは母校を思い出してみることにしよう。

キツカケ

平成六年卒
藤澤 大

「笠岡高校同窓会千鳥会総会」のご案内！ある日、自宅に帰るとこんな手紙が届いていました。「なんやこれ？」って読んでみると自分が運営委員になっていて。ビビッてすぐに電話したら、「あ、ごめん。十年前前かもっと前に名前書きしてもらったんよ」との返答。全く覚えてない。面倒臭いし、お断りしようと思っ

ていると、同僚から、「色んな人に会えるチャンスだから、ちゃんと参加しろー」と。ここにビジネスチャンスあるかわからんやろー」と、なんだかまっとうな事を言われ、嫌々運営委員会に参加する。同窓会の運営を手伝ってくれる同級生を集めるのが仕事だった。

卒業して三十年、四十八歳になった今、同級生と連絡をとるのも難しい。確か三百人ぐらいいたはずなのに。在学中から仲の良かったサッカー部の友人や、地元の友達ぐらいいいか思いつかない。社会人になり、仕事関係の知人もめっちゃくちゃ増えたし、結婚して家族も増え、子供達を通じて知り合った人も沢山いる。でも同級生を忘れていた。思い出せない。これってめちゃくちゃ寂しいし、ショックな出来事だった。

やっぱり今まで生きてきた中で知り合った人との繋がりは大事にしておかないと、これから先どんどん年を取ってもっと寂しくなる気がして怖い。その事に気付かせてくれたこの同窓会のイベントに、今は感謝してい

る。こんな気持ちになる為にも同窓会ってあるんやなと思っただけ。

二十年経って思うこと

平成十八年卒
長澤 弘樹

笠岡高校を卒業して二十年が経ち、「もうそんなに経つのか」と驚いてしまいます。卒業して今までを振り返ると、笠岡高校での出会い、経験の大切さを実感します。

高校では三年間ハンドボール部に所属しました。私の学年は入部した人数が多く、個性あふれる仲間と楽しい時間を過ごすことができました。思うように活躍できず、悔しい思いをしたこともありますが、諦めずに三年間続けることができたのは、切磋琢磨した仲間がいたからだと思えます。

最近会う機会は減ってしまいましたが、会えば必ず当時の楽しい雰囲気を感じることが間違いなしです。

就職先では、笠岡高校出身の先輩が職場にいたことで色々と面倒を見ていただき、早く職場に馴染むことができました。また、妻との出会いも笠岡高校の「縁」の大きさは計り知れないものがあります。

最後に、長い人生の中で見れば短い期間である高校三年間は、その後の生き方を左右するかもしれない貴重なかけがえのない時間です。今、高校生活を送っている後輩の皆さんには、この三年間を大切に、楽しく過ごしてほしいと思います。きつと、卒業して十年、二十年経った時、私と同じ様に「笠岡高校の卒業生で良かった」と感じる数えきれない出来事が思い返されるでしょう。

一所懸命の繋がる先

平成二十六年卒
堀 須美子

高校卒業後は約八年間県外で暮らしました。大学生生活を満喫したり、家業を継ぐために学校に通ったり、奉職したりと、勉強ばかりだった学生時代には想像もしていなかった環境や人との出会いがありました。正直、予習復習日々の小テストに追われていた笠岡高校の三年間は大変なことも多く、あの頃に戻りたいとは思わないのですが、色々な環境に身を置く中で気づいたことがあります。それは、勉強に一所懸命確かに向かい合っていた事が、やってきたことがありました。それは、勉強に一所懸命確かに向かい合っていた事が、やってきたことがありました。それは、勉強に一所懸命確かに向かい合っていた事が、やってきたことがありました。

その春から福祉を専門的に学ぶため、大学に進学しました。高校一年生の時の地域学で障害がある人について知ってもらったための活動をしましたことがきっかけで福祉に興味を持ちました。それまでは何を学びたいのかわからず、授業の予習や課題をただこなす毎日でした。学びたいことを見つけてから関連する職業や資格を調べ、自分の将来について考えるようになりました。

地域学を学んでいるうちに福祉について興味をもつことにはなかつたと思えます。卒業した今、千鳥に入学生活を送っています。笠岡高校で過ごした三年間は私の中で大きな糧となつていきます。今は新たな友人や先生方に出会い、とても楽しく大学生活を送っています。

目今の事に一所懸命に取り組み、何かを継続して頑張ることは目先の何かだけでなく未来の何かに繋がると思っています。そうだなと感じます。そのために一所懸命に頑張ることは目先の何かだけでなく未来の何かに繋がると思っています。そうだなと感じます。そのために一所懸命に頑張ることは目先の何かだけでなく未来の何かに繋がると思っています。そうだなと感じます。

高校生活の思い出

令和六年卒
中務 愛子

笠岡高校を卒業して二月が経ちました。高校時代を振り返ると、学校ばかり行っていたなあと思います。部活動や模試で長期休みも学校に行っていたのが昨日のことのようです。そのような毎日でも部活動に熱中できたことや大学で専門的に学びたいと思った学問を見つけたことは高校生活の中で一番の思い出です。

私は高校時代、吹奏楽部に所属していました。二年生の頃は新型コロナウイルスの影響でコンクールやイベントに参加出来ず、もどかしい思いをしていました。多くの人に演奏を聴いてもらえるのは当たり前ではないということを感じました。高校三年間の部活動での経験は私の中で大きな財産になっています。

この春から福祉を専門的に学ぶため、大学に進学しました。高校一年生の時の地域学で障害がある人について知ってもらったための活動をしましたことがきっかけで福祉に興味を持ちました。それまでは何を学びたいのかわからず、授業の予習や課題をただこなす毎日でした。学びたいことを見つけてから関連する職業や資格を調べ、自分の将来について考えるようになりました。

地域学を学んでいるうちに福祉について興味をもつことにはなかつたと思えます。卒業した今、千鳥に入学生活を送っています。笠岡高校で過ごした三年間は私の中で大きな糧となつていきます。今は新たな友人や先生方に出会い、とても楽しく大学生活を送っています。

部活動報告 65年度

- 英語部
 - 岡山県高等学校スピーチコンテスト兼全国高等学校英語スピーチコンテスト岡山県予選会/優秀賞
- 書道部
 - 高校生国際美術展(書の部)/佳作
 - 岡山県児童生徒書道展/岡山市長賞・特選
- 美術部
 - 岡山県高校生美術コンクール/金賞・銀賞
- サイエンス部
 - 生物系三学会中四国地区合同大会2023年徳島大会植物分野/最優秀賞
 - 全国ユース環境活動発表会/中国大会/出場
- 陸上競技部
 - 岡山県高等学校総合体育大会
 - 男子800m/5位
 - 男子砲丸投げ/8位
 - 女子砲丸投げ/8位
 - 中国高等学校陸上選手権大会
 - 男子800m/出場
 - 国体予選会
 - 男子800m/2位
 - 中国陸上選手権大会
 - 男子800m/出場
 - 岡山県高等学校陸上選手権大会
 - 男子800m/3位・4位
 - 女子砲丸投げ/6位
 - 女子円盤投げ/6位
 - 岡山県高等学校新人陸上大会
 - 男子800m/6位
 - 女子砲丸投げ/8位
 - 女子円盤投げ/7位
 - 岡山陸上カレニ二バル
 - 女子円盤投げ/7位
 - 岡山県高校駅伝/男子7位
- 卓球部
 - 岡山県高等学校学年別大会(シングルス)1年男子/ベスト8
 - 全国高等学校選抜卓球大会岡山県予選会(シングルス2部)/第3位
- バドミントン部
 - 岡山県高等学校バドミントン競技秋季大会 学校対抗/ベスト8

令和5年度入試結果

- ◎国公立大学
 - 大阪2名、名古屋1名、東北1名、神戸4名、東京学芸2名、岡山15名、広島3名、鳥取3名、島根6名、山口4名、香川3名、愛媛7名、徳島4名、高知2名、九州工業2名、熊本1名、大阪公立1名、岡山県立7名、福山市立3名など
 - 合格者合計94名
- ◎私立大学
 - 中央1名、立教1名、早稲田1名、同志社8名、立命館13名、関西4名、関西学院21名、京都産業2名、龍谷4名、近畿22名、ノートルダム清心20名
 - 合格者合計215名
 - ※合格者数には既卒生を含む



*** 事務局よりお知らせ ***

ふるさと岡山「学び舎」環境整備事業

母校 笠岡高校の応援をよろしくお願いいたします。

笠岡高校では、ICT 機器を活用した新たな学びのスペース整備を予定しています。詳細は本校 HP をご覧ください。

*インターネット申込
ふるさとチョイスのHP →
岡山県 → 「ふるさと岡山「学び舎」環境整備事業」
※「笠岡高校」を指定してください。

お申込の流れ

千鳥教育ボランティア募集

笠岡高校では、学校での様々な活動に「千鳥教育ボランティア」としてご協力・ご活動いただける方を募集しています。
詳細はインターネット「笠岡高校 千鳥教育ボランティア」で検索してください。